GARAGE MINIZ
XTREAM PERFORMANCE

GUN226 ハイラックス 2.5インチボディリフトキット

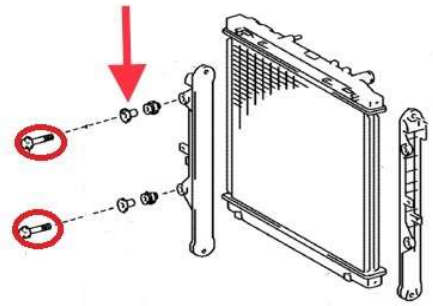
取付説明書

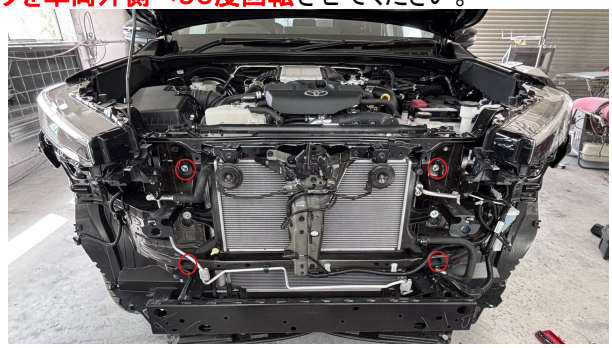


注意事項！

□車高の変化により為衝突安全装置等は正常に作動しない為機能をすべて無効にして走行してください。詳しくは車両取扱説明書をご参照ください。□ 本製品の取付けは、必ず専門業者に依頼してください。□ 本製品の加工、改造は絶対に行なわないでください。□ 本製品の装着に関する事故や弊害につきまして は、いかなる場合においても、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください□ 本製品は、ノーマルの車両を基準に開発、設計を行なっています。ノーマルから著しい変更を受けた車両に関しては本製品の機能及び性能、安全性について保証致しかねます。□ 本書に記載されている事項を守らなかった場合、死亡や怪我の人身事故・製品や車両その他の物損事 故には一切の責任を負いかねます。その場合製品や車両その他の物品や作業工賃等の金銭的保証並び に時間的・精神的損失についても一切負担致しません。予めご了承いただきますようお願いいたしま す。□ 本製品の装着に際して車載ジャッキやパンタグラフジャッキを使用した車体の持 ち上げや保持は絶対に行わないで下さい。作業中に車両が落下してケガをしたり 最悪の場合死亡する恐れがあります。必ず自動車用リフト、もしくはガレージ ジャッキとリジットラックを使用して下さい。

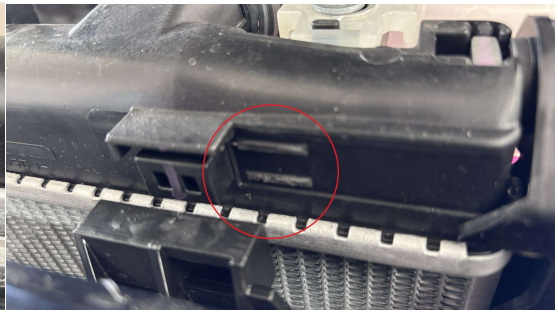
＃1　フロントグリル・フロントバンパー＆ホースメント・バッテリーアース、ウォッシャータンク、
フロントフェンダー内の純正エプロンシール、サイドステップを取り外します。
＃2　ラジエター固定ボルト図赤丸の4本を取り外し、上部左右の取り付けフックをコアサポート
から外します。（赤矢印）その後、左右の**フックを車両外側へ90度回転**させてください。





＃3　ラジエターからエアコンコンデンサーを取り外します。
上部コンデンサー取付をトリミングします。（図右）



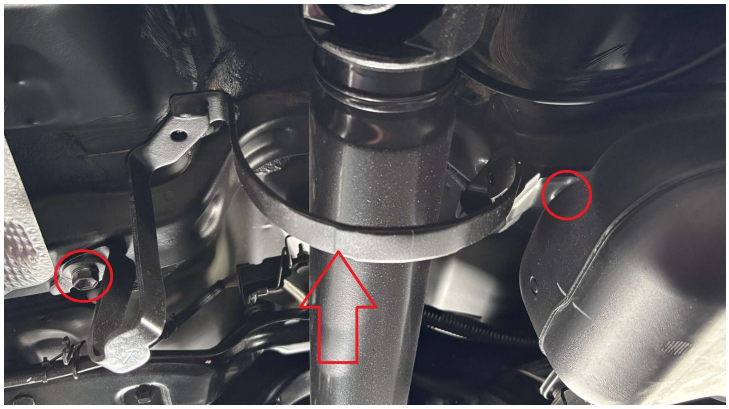


＃4　上側のみラジエター側に付属のダウンブラケットを取り付けします。
ねじ山が切って有る方が上側で、テーパー状のボルトで垂直に取付けます。
締め付けはラジエターコアサポートのラジエター固定穴より6各レンチで締め付けます。

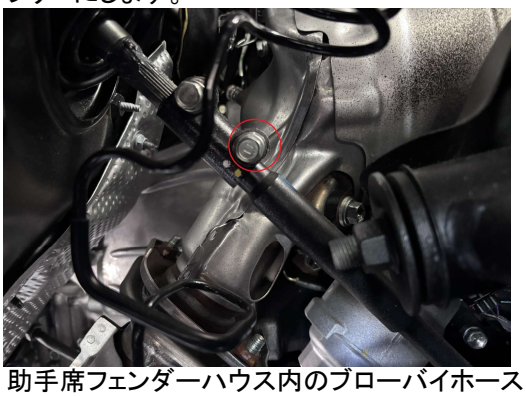


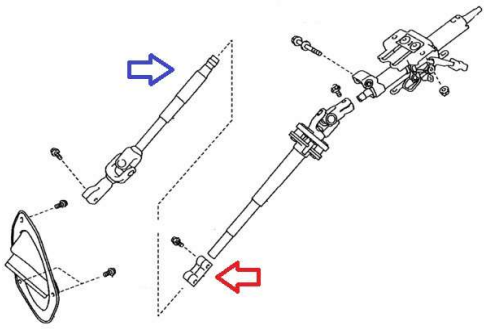


＃5　エアークリーナーボックス⇔ターボチャージャー間のサクションパイプを外します。
＃6　車両中央下側に付いているプロペラシャフト下のガードを取り外します。

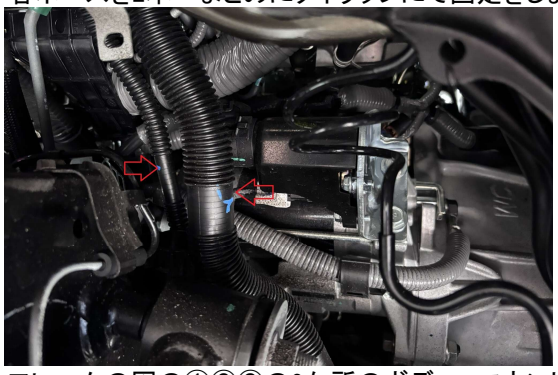


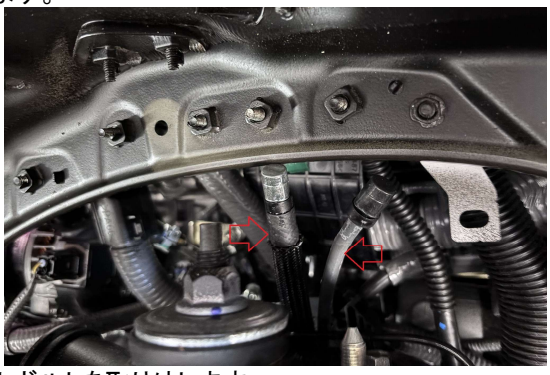
#7　ステアリングハンドルが回転しない様ハンドルロックツールやマスキングテープ等で固定します。
ステアリングシャフトの赤丸の固定ボルトを外します。(図左　運転席フェンダー内)
図右の赤矢印のジョイントクランプをハンドル方向へスライドさせ、青矢印のシャフトを
フリーにします。



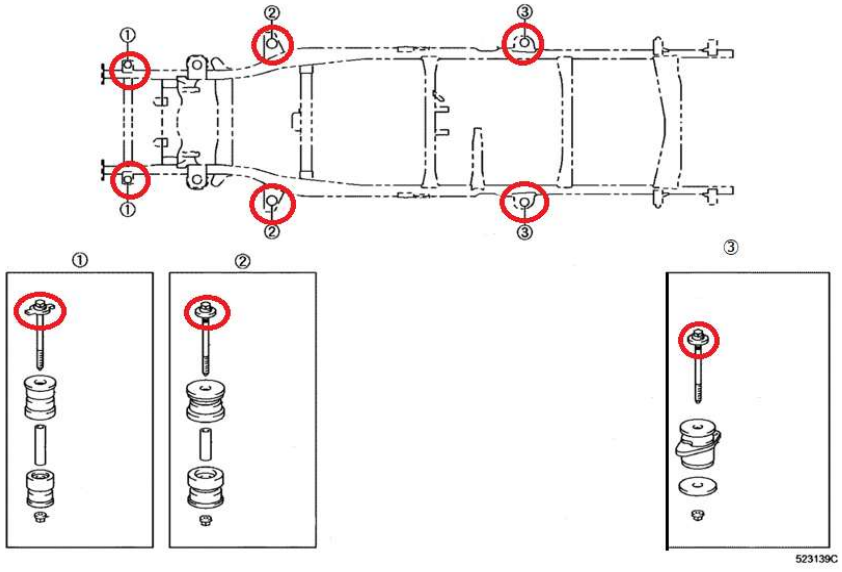


#8　助手席フェンダーハウス内のブローバイホース、アドブルーホースをクリップから外します。
図左はアドブルーホース、図右はブローバイホースです。
各ホースを2本一まとめにタイラップにて固定をします。





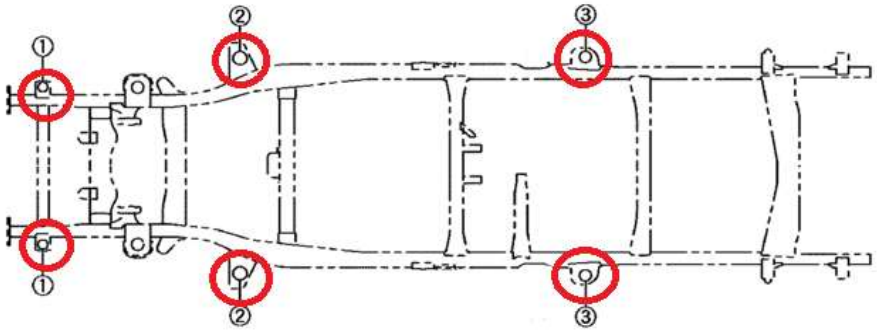
#9　フレームの図の①②③の6か所のボディーマウントボルトを取り外します。



#10　取り外したボルトの圧入されているワッシャーを再利用する為、図の様に24mmの
ソケットを使用してハンマーで叩き抜きます※写真はイメージの為ワッシャーの数が異なります。

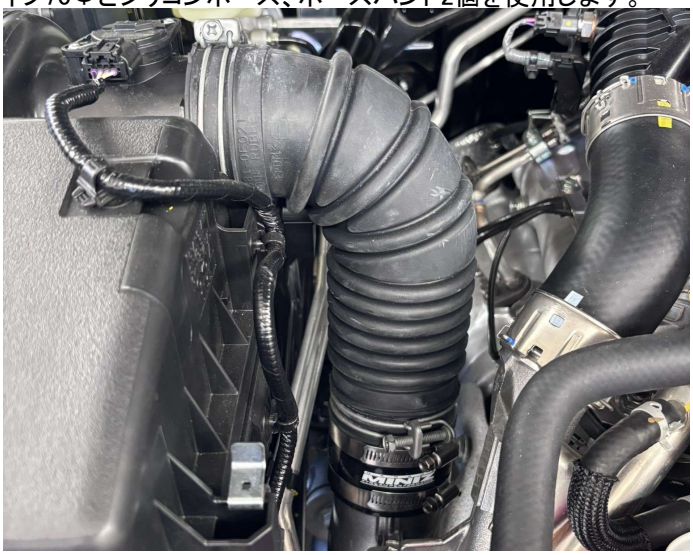


#11　ボディーを少しずつ持ち上げ、他に外す物が無いか確認しながら上げていきます。
必要に応じて取り外しを行ってください。
図①②③位置に指定のボディーリフトブロックを挟み込みます。
①に220mmボルト＆60mmブロック、②に220mmボルト＆85mmブロック、
③に190mmボルト＆85mmブロックを使用。
①②③の位置の#10で取り外したワッシャー大を使用し、付属のボルトを
ボディーへ差し込みブッシュ下へ付属のワッシャ、ナットを取り付けます。
ボディーとフレームの距離を測り前後左右にボディーのズレが無いかを確認してから
ボルトを締め付けボディーを固定します。

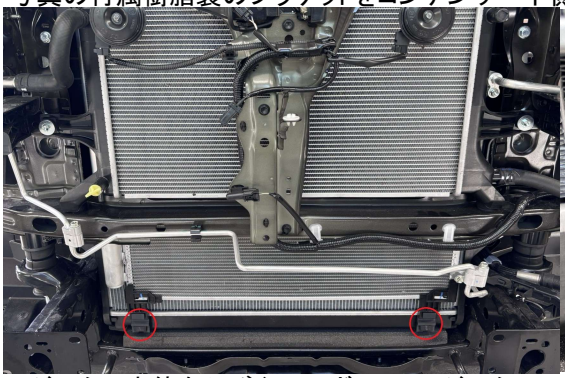
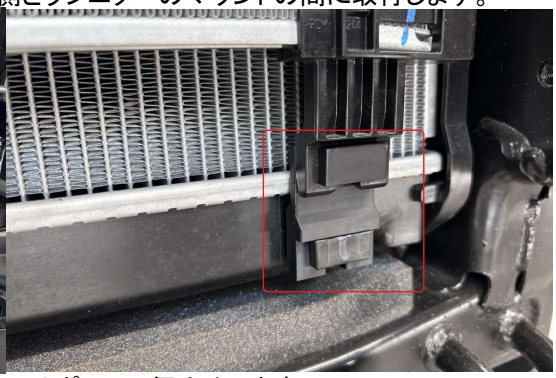


#11　ラジエターの下側に付属のダウンブラケットを取り付けします。
取付要領は#4をご参照ください。

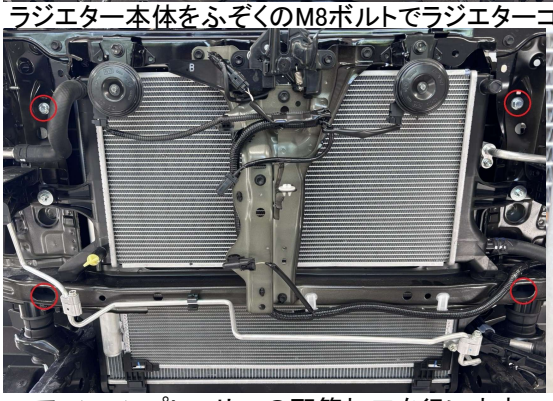
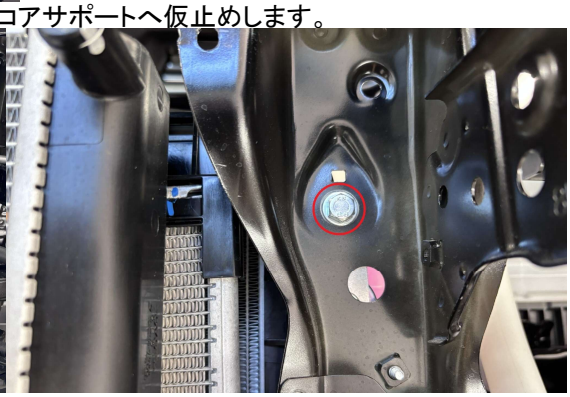
#12　サクションホースの延長をして取り付けを行います。
付属のアルミパイプ70Φとシリコンホース、ホースバンド2個を使用します。



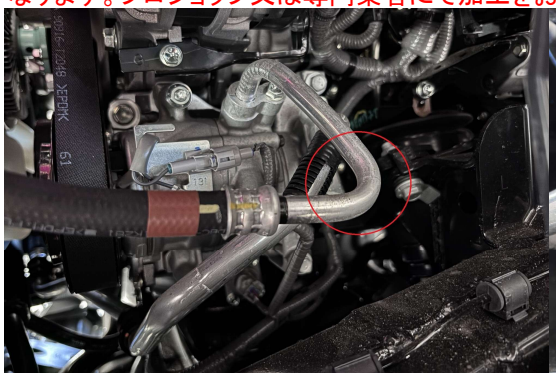
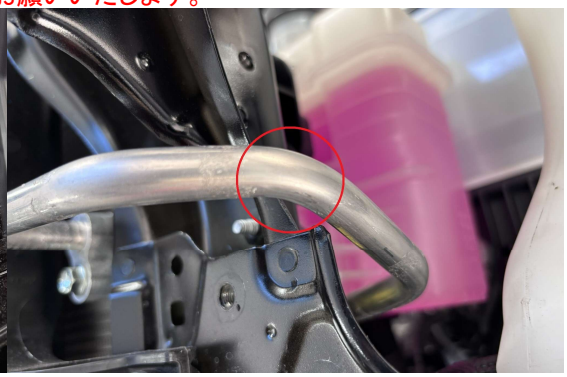
#13 エアコンコンデンサーの固定を行います。
写真の付属樹脂製のブラケットをコンデンサー下側とラジエターのマウントの間に取付します。

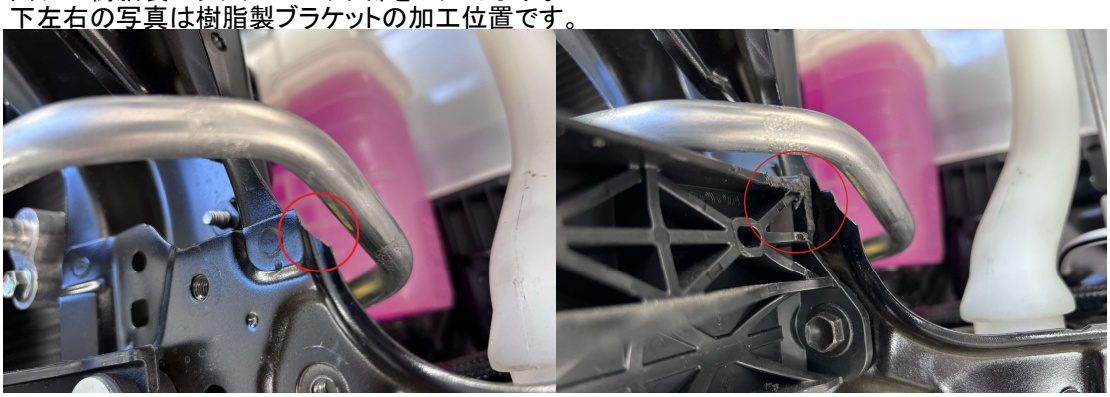
ラジエター本体をふぞくのM8ボルトでラジエターコアサポートへ仮止めします。

#14 エアコンコンプレッサーの配管加工を行います。
写真左のコンプレッサーから延びるパイプの曲げ部のみを曲げ5度ほど角度を増やしエアコンホースやパイプ、コンデンサーに無理が掛からない様調整します。
パイプを取り外し簡易ベンダーなどで曲げられる事をお勧め致します。
同じくコンデンサー側も写真右の位置を下向きに曲げ調整します。
コンデンサー本体も絶対に曲げてはいけません。
曲げ方やコンプレッサー側フランジの根元などを曲げるとクラックの原因になりガス漏れの原因になります。プロショップ又は専門業者にて加工をお願いいたします。

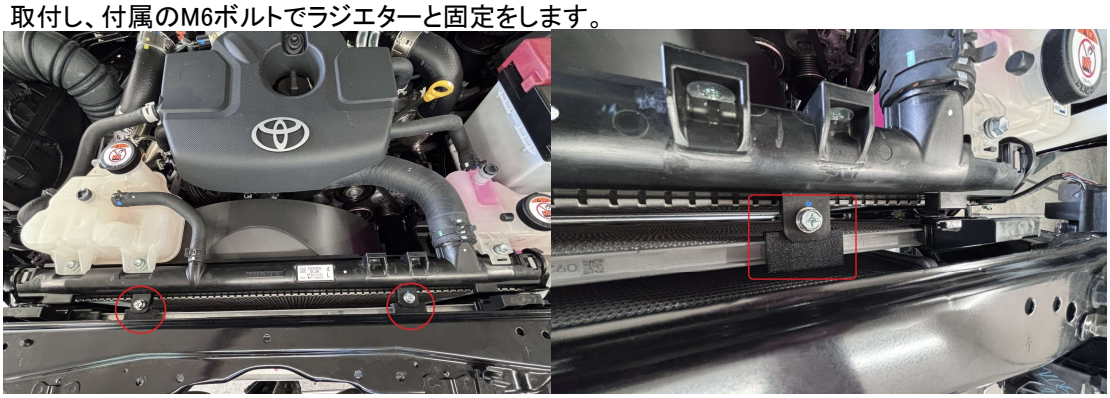
#15 助手席ヘッドライト下のエアコンコンデンサーパイプの干渉対策をします。
ラジエターコアサポートの（図左の赤丸部）をトリミングします。
図右の樹脂製ブラケットのフック部をカットします。
下左右の写真は樹脂製ブラケットの加工位置です。



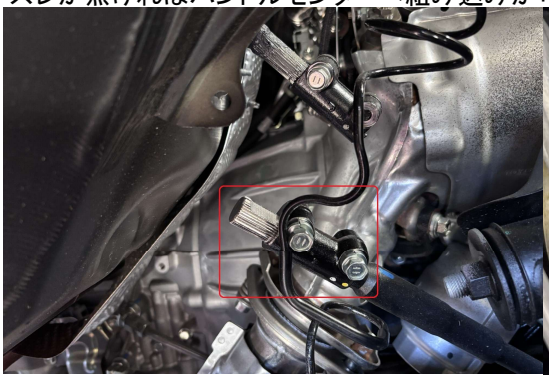
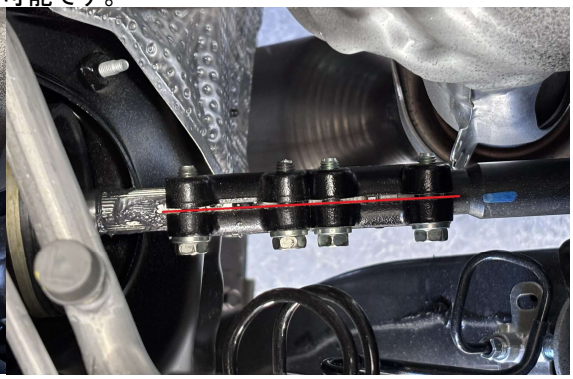
樹脂製ブラケットの加工位置です。写真左が加工前、右が加工後です。



#16 ラジエター上側の固定を行います。付属のこの字型の樹脂製ブラケットをコンデンサーに被せる様
取付し、付属のM6ボルトでラジエターと固定をします。



#17 付属のステアリング延長シャフトうを赤枠の位置に取り付けを行います。特定の位置のみ刺さります
次に前後のシャフトを連結します。その際、(写真右)赤線の隙間にズレ出ない様組付けしてください
※ボルトは再度、確実に4本とも締め付け確認をしてください。締め忘れは死亡事故につながります。
ズレが無ければハンドルセンターへ組み込みが可能です。

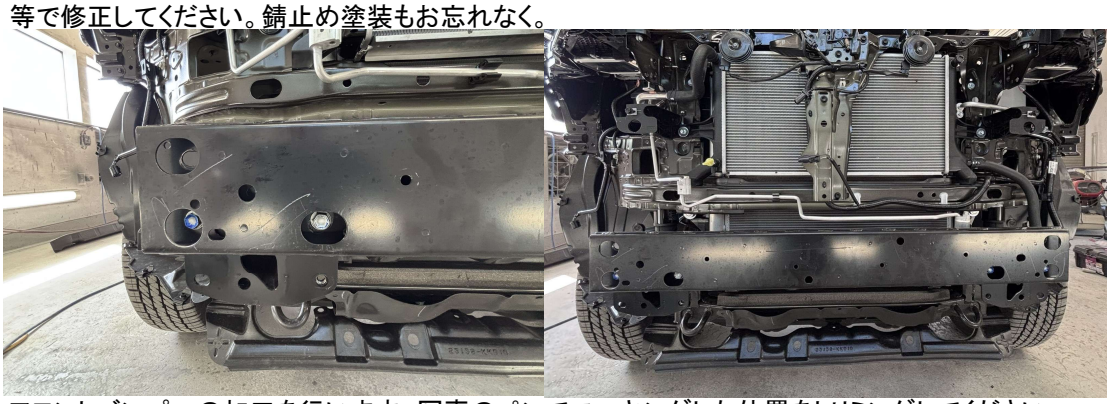
#18 バンパーホースメントの加工取付を行います。
ホースメント裏面外側から36mm、下側から28mmの位置に左右共に5mmの穴を裏表貫通させて空けます。(左写真)
裏面は13.5mmのドリルで左右共穴を拡大します。(写真右)




表面は35mmほどのホールソーで穴を拡大します。




純正ボルトを使用し両サイドを固定し、内側左右は純正ボルトと付属のM10フランジナットで固定します。穴位置やフレーム側の誤差で外側の新設したボルトが入らない場合はリューター等で修正してください。錆止め塗装もお忘れなく。

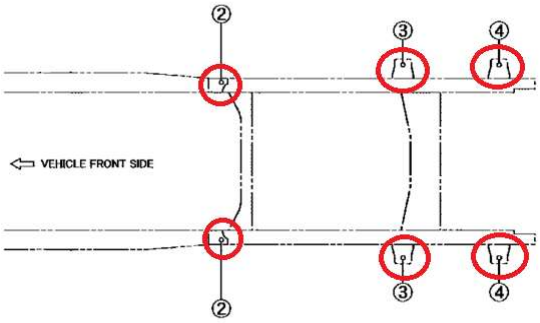


#19 フロントバンパーの加工を行います。写真のペンでマーキングした位置をトリミングしてください。

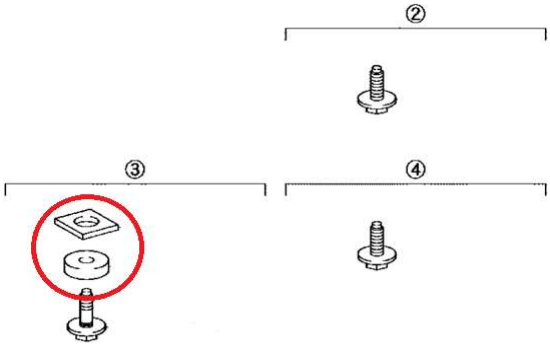


トリミングが完了したら、ウォッシャータンク、ホースメント、ダクト類、バンパー他を取付します。

#20 荷台のボディーリフトを行います。まず給油キャップを取り外します。
助手席側リアバンパー裏の集中カプラーを2ヶ所取り外します。（#22図参照）
助手席側のフェンダーライナーを取り外してから図左の②③④番の位置のボルトを取り外します。
②～④の位置に60mm外径ブロックを挟み込み取り付けします。
各ボルトにはねじロック材を使用します。
③の位置はブッシュが入っておりますので100mmの付属ボルト・ワッシャー・丸ブッシュの順で。
③のか正方形ブッシュはブロック上側へ取り付けします。
②④は90mmボルトと付属のワッシャーと共に取り付けをします。
②の位置は狭く、ボルトが入りにくい場合が御座います。図右下を参考に取付してください。
②～④のボルトの仮締めが完了したら前後左右荷台のチリを合わせ本締めします。
※②位置の助手席側ボルト穴が運転席側に比べ穴径が小さいです。必要に応じて拡大して下さい。

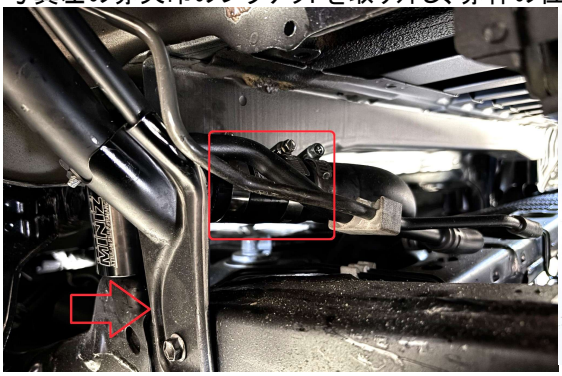






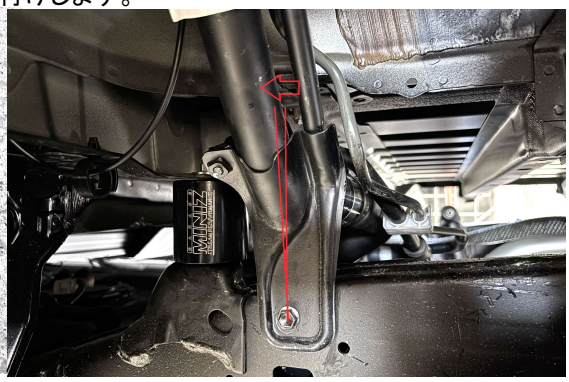


#21 給油口の加工取付を行います。
写真左の赤矢印のブラケットを取り外し、赤枠の位置を写真右のシリコンホースで延長します。

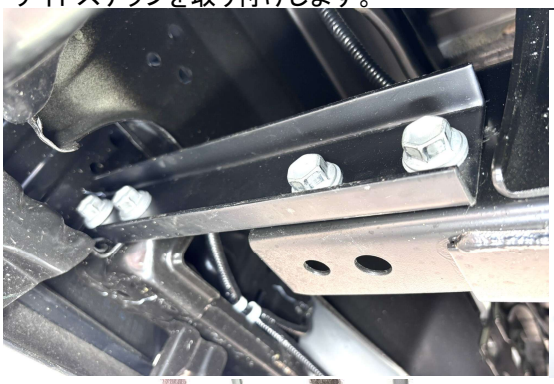


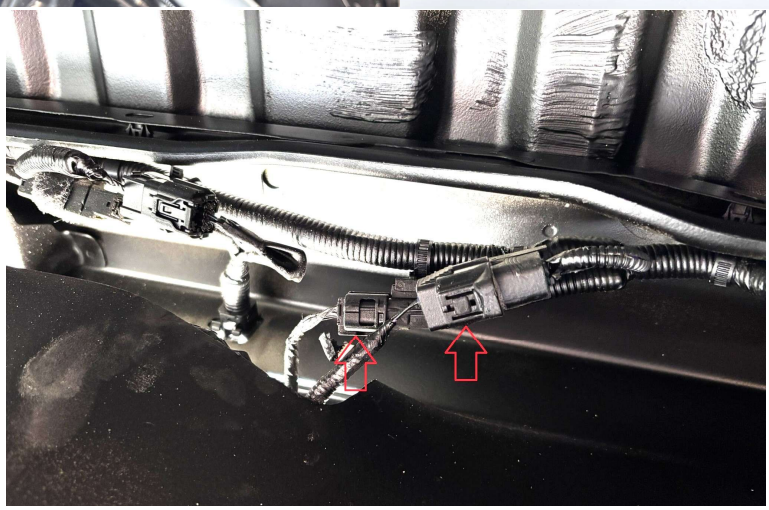


取り外したブラケットの加工をします。
写真左の様にトリミングを行い、純正のM6・M8ボルトで元の位置へ取り付けをします。
その際、パイプを固定している位置を10mmほど前方へ行くよう左に倒して固定します。
その後、給油キャップ・フェンダーライナーを取り付けします。

#22 リアバンパーステーの交換をします。
片側ずつリアバンパーの純正ステーを付属のステーへ交換します。
写真右の上側が左用。この字をカットしている位置を下にし、バンパー側に取付します。
高さ調整をして本締めします。
　バンパー裏の集中カプラーを取付します。（図下中央）
サイドステップを取り付けします。





#23 ボディーリフトキットの取り付けが完了しました。
各部締め忘れや干渉部が無いか、よく確認してください。
フロントバンパー内のレーダー、バンパーハーネスのつけ忘れは有りませんか？
ステアリングシャフトの延長の閉め忘れや、ズレは有りませんか？
※どちらもミスが有るとエラーが発生しメーターに表示されます。
確認が出来ましたらバッテリーアースの取り付けを行ってください。
エンジンをかけエラー等が無いかを確認してから試乗を行ってください。

FINISH

以上をもってGUN226HILUX用ボディリフトキットの取り付けが終了しました。
走行にあたっては注意事項を良くお読みいただき、今一度各部のチェック、増し締め
などを行ない部品の干渉などがないかを改めてご確認してください。

CALL US
Tel: 0157-33-1228 | Fax: 0157-33-1229
EMAIL US
garageminiz@icloud.com